

国づくりの百年デザイン・タスクフォース 各テーマの検討例

(1) 経済社会の枠組み転換(パラダイム・シフト)の展望

今後100年の間に、地球社会の変化とともに、人口減少・世代交代などによる日本人の価値観・あり様、文化、技術、国土の資源など、将来の日本を形づくる基礎的な条件は、どう変わるのか。

また、その下で、ビジネスモデル、ライフスタイル、地域社会の枠組みに、どのようなパラダイム・シフトが生じるのか。その結果として、経済成長、産業構造、人口分布など国土全体の姿はどう変わるか。

(2) 世界を惹きつける日本 - 新世紀のグローバルセンターをめざして -

国際競争を生き抜く戦略と国際社会における日本の役割・貢献は何か。
新世紀のグローバルセンターとして世界を惹きつける都市の魅力は何か。

(交流・情報基盤のあり方、日本流の文化・伝統、技術・知的資源や生活環境)

世界に伍する国際機能都市から小さな世界都市まで、個性を活かした国際交流の姿はいかにあるべきか。

(3) 多様なライフスタイルの実現 - 新世代アメニティの形成 -

未来を担う人々のワークスタイル、余暇スタイルの変化を見通し、人それぞれが追求するライフスタイルを実現できる魅力ある地域の将来像は、いかにあるべきか。

また、ライフスタイルを支える生活関連サービスや地域社会の活力を維持するため、望ましい生活圈域のあり方や、交流・連携による広域レベルの対応を、どのように具体化していくか。

(4) 次世代と共有する資産の形成 - 持続可能な社会システムへの転換 -

地球温暖化などの地球規模での環境問題の深刻化が見通される中、地球全体の持続性と我が国の活力を両立させるため、循環型・環境共生型国土づくりを、どのように進めるべきか。